



## 2021年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年11月12日

上場会社名 株式会社ホットリンク 上場取引所 東  
 コード番号 3680 URL <https://www.hottolink.co.jp/>  
 代表者（役職名） 代表取締役（氏名） 内山 幸樹  
 問合せ先責任者（役職名） 財務経理部長（氏名） 村山 滋彦 (TEL) 03-6261-6930  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2021年12月期第3四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年9月30日）

## （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	4,316	44.1	170	—	735	—	544	—	547	—	668	—
2020年12月期第3四半期	2,995	16.8	△90	—	△133	—	△116	—	△22	—	△172	—
	基本的1株当たり 四半期利益				希薄化後1株当たり 四半期利益							
	円 銭				円 銭							
2021年12月期第3四半期	35.27				35.09							
2020年12月期第3四半期	△1.43				—							

## （2）連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	6,862	—	3,815	—	3,601	—	52.5	—
2020年12月期	5,767	—	2,972	—	2,793	—	48.4	—

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
通期	6,099	39.1	222	—	787	—	593	—	566	—	36.49	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 一 、 除外 一社(社名) 一

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

- (3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年12月期3Q	15,852,800株	2020年12月期	15,668,200株
2021年12月期3Q	280,215株	2020年12月期	280,177株
2021年12月期3Q	15,511,616株	2020年12月期3Q	15,384,399株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結財政状態計算書 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 四半期連結包括利益計算書 .....	7
(4) 四半期連結持分変動計算書 .....	8
(5) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(6) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(表示方法の変更) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間において、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受ける中で、ワクチン接種の促進や各種の経済施策により、国内外で社会経済活動が回復に向かうことが期待されております。しかしながら、変異株による感染の再拡大もあり、国内においては4回目となる緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置が一部地域で再適用されるなど、新型コロナウイルス感染症の拡大状況の変化による世界的な景気下振れリスクに対する十分な注意は引き続き必要であり、依然として先行きは不透明であります。

デジタルマーケティング市場においては、従来からの市場成長の流れに加え、ウィズコロナの中、世界中の人々がインターネットに費やす時間が増えたため、その成長速度は増しております。また、人々の情報の収集・発信・交換手段としてのソーシャルメディアの重要性は、これまで以上に高まっております。

このような中、当社グループは、データと分析のテクノロジーを強みとし、顧客のソーシャルメディアマーケティングを支援するビジネスを、拡大する事業と位置づけ注力しております。

当社の報告セグメントは、ソーシャルメディアマーケティング支援事業の単一セグメントであります。事業区分は、SNSマーケティング支援事業、クロスバウンド事業及びDaaS事業の各サービスにより構成されております。

事業毎の経営成績は、次のとおりであります。

#### a. SNSマーケティング支援事業

当事業は、主に日本国内向けのSNSマーケティング支援から成り立っており、その主なサービスは、SNS広告・SNS運用コンサルティングと、SNSの分析ツールである「クチコミ@係長」などです。これらのサービスは、当社が保有する膨大なデータと、長年に亘り蓄積してきたSNS分析・運用ノウハウで、分析から施策立案、効果測定までを一気通貫でサポートするものです。

当事業の売上高は1,334百万円（前年同期比43.5%増）となりました。これは主に、拡大する事業と位置づけているビジネスである、SNS広告・SNS運用コンサルティングが引き続き好調だったことによるものであります。新型コロナウイルスの影響による新しい生活様式の中でSNSマーケティングの重要性が高まり需要が増加したことと同時に、順調に実績を積み上げている当社サービスへの顧客からの評価が高まっていることによるものと考えております。SNS分析ツールについては、営業人員をSNS広告・SNS運用コンサルティングに集中しておりますが、こちらも堅調に推移し、前年同期と比較し増加となりました。

#### b. クロスバウンド事業

当事業は、拡大する事業と位置づけているビジネスの1つであり、主にソーシャル・ビッグデータを活用した日本と中国をつなぐクロスバウンドの消費行動の分析と、これを強みとするプロモーション支援、越境ECサービスから成り立っております。

当第3四半期連結累計期間においては、引き続き訪日中国人向けプロモーション（インバウンド）需要は停止しているものの、安定して経済回復を続ける中国市場向けプロモーション（アウトバウンド）において、高まる顧客企業の需要の積極的な獲得に努めて参りました。また、越境ECの新開発サービスが当第3四半期連結累計期間より売上に貢献いたしました。これらの結果、当事業の売上高は1,708百万円（前年同期比147.6%増）となりました。

#### c. DaaS事業

当事業は、当社の米国子会社であるEffyis, Inc. の主にSNSデータアクセス権の販売から成り立っております。

当事業の売上高は1,274百万円（前年同期比7.3%減）となりました。当第2四半期連結会計期間において、SNSデータアクセス権の1つが契約更新をしなかったことにより、前年同期から微減となりました。本件は地政学的な問題によるものと捉えており、当社の米国子会社であるEffyis, Inc. は引き続き、世界中のソーシャル・ビッグデータを保有するメディアとの間で良好な関係を維持し、安定したデータ提供や新規メディアからのデータアクセス権の契約を順調に獲得してまいります。

## 事業別売上高

サービスの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	
	売上高(千円)	前年同期比(%)
ソーシャルメディアマーケティング支援事業		
SNSマーケティング支援事業	1,334,294	143.5
SNS分析ツール	380,574	115.7
SNS広告・SNS運用コンサルティング	953,719	158.6
クロスバウンド事業	1,708,023	247.6
DaaS事業	1,274,425	92.7
合計	4,316,743	144.1

以上の結果、当第3四半期連結累計期間においては、売上高4,316百万円(前年同期比44.1%増)となり、売上総利益が売上高の増加に伴い1,445百万円(前年同期比30.7%増)となりました。販売費及び一般管理費は1,283百万円(前年同期比4.0%増)となりました。主な増減要因は、コスト削減に努め業務委託費や支払手数料が減少したこと、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努め、従業員の在宅勤務とともに出張の自粛を続けているため、旅費交通費などが減少している一方で、業容拡大に伴う人件費が増加したことなどによるものであります。これらのことから、営業利益は170百万円(前年同期は営業損失90百万)となりました。また、金融収益が主に有価証券の評価益を計上したことにより574百万円(前年同期は70万円)となり、四半期利益544百万円(前年同期は四半期損失116百万円)となりました。この有価証券の評価益は、中長期的な事業の種まきのために、ブロックチェーン分野における世界規模の動向調査と人脈構築を目的としてブロックチェーンスタートアップに投資するファンドに出資しており、このファンドの資産価値が増加したことによるものです。資産価値の評価に関しては、変動リスクを考慮し、適切な安全率をかけて評価しております。なおEBITDAは、466百万円(前年同期は230百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 財政状態の分析

## (流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は3,227百万円となり、前連結会計年度末に比べて517百万円増加いたしました。この主な要因は、売上高の増加などにより現金及び現金同等物が490百万円増加したこと、棚卸資産が83百万円増加したこと、未収入金などのその他の流動資産が31百万円増加した一方、営業債権及びその他の債権が54百万円減少したこと、法人所得税の還付により未収法人所得税が43百万円減少したことなどによるものであります。

## (非流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における非流動資産の残高は、3,634百万円となり、前連結会計年度末に比べて576百万円増加いたしました。この主な要因は、有価証券の時価評価や従業員への長期貸付等によりその他の金融資産が615百万円増加したこと、為替換算調整によるのれんが115百万円増加したこと、ソフトウェアなどのその他の無形資産が18百万円増加した一方、米子子会社のオフィス移転などにより使用権資産が165百万円減少したこと、繰延税金資産が5百万円減少したことなどによるものであります。

## (流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、973百万円となり、前連結会計年度末に比べて41百万円増加いたしました。この主な要因は、営業債務及びその他の債務が149百万円増加したこと、未払法人所得税が

26百万円増加した一方、未払消費税や仮受金の減少によりその他の流動負債が124百万円減少したこと、リース負債が7百万円減少したことなどによるものであります。

#### (非流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における非流動負債の残高は、2,073百万円となり、前連結会計年度末に比べて209百万円増加いたしました。この主な要因は、借入金が増加したこと、繰延税金負債が増加した一方、前年度にクロスバウンド事業において長年の協業先であった普千(上海)商務諮訊有限公司(以下、普千という)から全部の事業を譲り受けており、普千への事業譲受対価支払によりその他の非流動負債が50百万円減少したこと、米国子会社のオフィス移転などによりリース負債が160百万円減少したことなどによるものであります。

#### (資本合計)

当第3四半期連結会計期間末における資本合計の残高は、3,815百万円となり、前連結会計年度末に比べて843百万円増加いたしました。この主な要因は、四半期利益544百万円により、利益剰余金が増加したこと、ストックオプションの行使に伴う払込などにより資本金及び資本剰余金が増加したこと、非支配持分が増加したこと、また海外子会社の財務諸表の為替換算調整等によるその他の資本構成要素が増加したことによるものであります。

#### キャッシュ・フローの分析

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べて490百万円増加し2,557百万円となりました。

営業活動の結果得られた資金は480百万円(前年同期は207百万円の増加)となり、この主な要因は、税引前四半期利益735百万円、非資金項目の調整である減価償却費及び償却費295百万円により資金が増加した一方、非資金項目である金融収益549百万円を調整したことによるものであります。

投資活動の結果使用した資金は、376百万円(前年同期は229百万円の使用)となりました。この主な要因は、無形資産の取得による支出210百万円、事業譲受による支出66百万円、長期貸付による支出113百万円によるものであります。

財務活動の結果得られた資金は、334百万円(前年同期は18百万円の使用)となりました。この主な要因は、ストックオプションの行使による資本の増加による収入123百万円、長期借入金による収入390百万円、長期借入金の返済132百万円及びリース負債の返済46百万円を行ったことによるものであります。

#### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の連結業績予想は、第3四半期連結累計期間の実績を踏まえ修正しております。詳細につきましては、本日付け「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	注記	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産</b>			
流動資産			
現金及び現金同等物		2,067,077	2,557,819
営業債権及びその他の債権		501,936	447,407
棚卸資産		7,928	91,445
未収法人所得税		44,942	1,297
その他の金融資産		—	10,000
その他の流動資産		88,462	119,910
流動資産合計		2,710,346	3,227,880
非流動資産			
有形固定資産		31,076	28,327
のれん		1,367,941	1,483,131
使用権資産		691,094	525,428
その他の無形資産		613,543	632,388
持分法で会計処理されている投資		158,411	161,889
その他の金融資産		180,185	795,189
繰延税金資産		13,624	7,682
その他の非流動資産		1,548	275
非流動資産合計		3,057,426	3,634,314
資産合計		5,767,772	6,862,194
<b>負債及び資本</b>			
<b>負債</b>			
流動負債			
借入金		43,212	40,352
営業債務及びその他の債務		422,696	572,429
リース負債		73,523	66,301
未払法人所得税		2,704	29,496
その他の流動負債		389,897	265,192
流動負債合計		932,034	973,771
非流動負債			
借入金		808,124	1,067,802
リース負債		619,614	458,813
繰延税金負債		273,671	434,746
その他の非流動負債		162,247	111,860
非流動負債合計		1,863,658	2,073,222
負債合計		2,795,692	3,046,994
<b>資本</b>			
資本金		2,359,828	2,427,559
資本剰余金		2,875,074	2,952,199
利益剰余金		△2,005,762	△1,458,641
自己株式		△140,185	△140,216
その他の資本の構成要素		△295,131	△178,939
親会社の所有者に帰属する持分合計		2,793,822	3,601,961
非支配持分		178,257	213,239
資本合計		2,972,080	3,815,200
負債及び資本合計		5,767,772	6,862,194

## (2) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

注記	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	2,995,305	4,316,743
売上原価	△1,889,831	△2,871,723
売上総利益	1,105,474	1,445,019
販売費及び一般管理費	△1,233,704	△1,283,281
その他の収益	71,164	9,394
その他の費用	△33,807	△758
営業利益又は営業損失(△)	△90,873	170,374
金融収益	700	574,640
金融費用	△41,961	△13,454
持分法による投資損益	△886	3,477
税引前四半期利益又は税引前四半期損失(△)	△133,021	735,037
法人所得税	16,392	△190,417
四半期利益又は四半期損失(△)	△116,628	544,619
四半期利益又は四半期損失(△)の帰属		
親会社の所有者	△22,057	547,121
非支配持分	△94,571	△2,501
四半期利益又は四半期損失(△)	△116,628	544,619
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(△損失)	△1.43	35.27
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	—	35.09



## (3) 四半期連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期利益又は四半期損失(△)	△116,628	544,619
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	△12,834	1,186
純損益に振り替えられることのない項 目合計	△12,834	1,186
純損益に振り替えられる可能性のある 項目		
在外営業活動体の外貨換算差額	△43,107	122,375
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	△43,107	122,375
その他の包括利益合計	△55,941	123,562
四半期包括利益	△172,570	668,182
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△77,159	663,313
非支配持分	△95,410	4,868
四半期包括利益	△172,570	668,182

## (4) 四半期連結持分変動計算書

(単位：千円)

注記	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本合計
2020年1月1日残高	2,359,428	2,851,812	△2,029,476	△140,161	△215,616	2,825,985	227,132	3,053,118
四半期利益(△損失)	—	—	△22,057	—	—	△22,057	△94,571	△116,628
その他の包括利益	—	—	—	—	△55,102	△55,102	△839	△55,941
四半期包括利益	—	—	△22,057	—	△55,102	△77,159	△95,410	△172,570
新株の発行(新株予約 権の行使)	200	170	—	—	—	370	—	370
自己株式の取得	—	—	—	△23	—	△23	—	△23
支配の喪失とならない 子会社に対する非支配 持分株主との取引	—	22,892	—	—	—	22,892	26,967	49,859
所有者との取引額 合計	200	23,062	—	△23	—	23,238	26,967	50,206
2020年9月30日残高	2,359,628	2,874,874	△2,051,534	△140,185	△270,718	2,772,064	158,689	2,930,753
2021年1月1日残高	2,359,828	2,875,074	△2,005,762	△140,185	△295,131	2,793,822	178,257	2,972,080
四半期利益(△損失)	—	—	547,121	—	—	547,121	△2,501	544,619
その他の包括利益	—	—	—	—	116,192	116,192	7,370	123,562
四半期包括利益	—	—	547,121	—	116,192	663,313	4,868	668,182
新株の発行(新株予約 権の行使)	67,731	57,238	—	—	—	124,969	—	124,969
自己株式の取得	—	—	—	△31	—	△31	—	△31
支配の喪失とならない 子会社に対する非支配 持分株主との取引	—	19,886	—	—	—	19,886	30,113	49,999
所有者との取引額 合計	67,731	77,124	—	△31	—	144,824	30,113	174,938
2021年9月30日残高	2,427,559	2,952,199	△1,458,641	△140,216	△178,939	3,601,961	213,239	3,815,200

## (5) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
注記	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期利益又は税引前四半期損失(△)	△133,021	735,037
減価償却費及び償却費	321,480	295,680
金融収益	△700	△549,652
金融費用	35,520	13,454
助成金収入	△54,858	—
持分法による投資損益(△は益)	886	△3,477
固定資産除売却損益(△は益)	610	—
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	161,871	35,161
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△194,431	129,572
その他の流動資産の増減(△は増加)	△38,391	△111,002
その他の流動負債の増減(△は減少)	58,295	△68,206
その他	△3,676	△31,198
小計	153,586	445,368
利息及び配当金の受取額	700	1,098
利息の支払額	△14,118	△13,478
助成金の受取額	54,858	—
法人所得税の支払額	△48,266	△290
法人所得税の還付額	61,095	47,865
営業活動によるキャッシュ・フロー	207,854	480,564
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
関係会社株式の売却による収入	66,000	—
有形固定資産の取得による支出	△1,109	△746
無形資産の取得による支出	△223,246	△210,087
事業譲受による支出	△99,209	△66,504
短期貸付の回収による収入	—	24,585
長期貸付による支出	—	△113,413
長期貸付の回収による収入	25,000	—
敷金保証金による支出	—	△10,237
その他	2,838	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△229,727	△376,404
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入による収入	—	390,000
長期借入金の返済による支出	△43,659	△132,409
リース負債の返済による支出	△60,297	△46,932
ストックオプションの行使による資本の 増加による収入	—	123,627
非支配持分からの払込みによる収入	49,999	—
新株発行による収入	370	—
自己株式の取得による支出	△23	△31
その他	35,000	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18,610	334,254
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,385	52,327
現金及び現金同等物の増加額	△47,868	490,742
現金及び現金同等物の期首残高	1,700,469	2,067,077
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,652,600	2,557,819

(6) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結貸借対照表関係)

前連結会計年度において、流動資産の「その他流動資産」に含めていた「棚卸資産」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、流動資産の「その他の流動資産」に表示していた96,391千円は、「棚卸資産」7,928千円、「その他の流動資産」88,462千円として組み替えております。